負担金検証調書【平成28年度交付分】

1　負担金の予算決算等について

負担金の名称	一宮建設事務所管内事業協議会負担金		市の担当部課	都市整備部整備課　用地担当			問い合わせ先	0568-44-0333
負担金の金額	予算額	104,000　円	当初交付額	98,000　円	決算額	98,000　円	前年度決算額	98,000　円

2　負担金の交付先について

交付先の状況	名称	一宮建設事務所管内事業協議会	（法人格の有無）		代表者	一宮市長	所在	一宮市
	構成団体	一宮市、大口町、扶桑町、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、一宮建設事務所、愛知県議会議員原よしのぶ外10名						
	設置の根拠	一宮建設事務所管内事務所管内事業協議会会則(昭和56年7月16日制定、平成22年7月1日一部改定)						
	意思決定の方法	総会の議事は出席会員の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決するところによる						
事務局の体制等	所在	一宮建設事務所			代表者	一宮建設事務所長		
	事業資金の管理責任者	一宮建設事務所長			事業資金の管理者	一宮建設事務所長		
	契約、支出 決裁の方法	（事務局が市である場合） 市のルールに準じているか？		完全準拠でない 場合の内容等				
		（事務局が市でない場合） 具体的に記述	印刷などの高額な契約の場合は見積徴収を行い発注している。				証拠書類 の有無	有
	事業資金等の保管方法	金融機関への預け入れ						

3　負担金の対象となる事業等について

事業内容 （事業の全体像）	建設事業の促進、建設事業の企画及び情報収集、建設に関する講習会、見学会等の開催
（犬山市の役割）	要望活動に参加している。職員が協議会主催の研修に参加し、知見向上や資質向上している。
事業実績 （具体的な手法）	愛知県議会建設委員会県内調査において要望活動を行う。職員の知見向上を図るため「足助香嵐渓地区のまちづくり」及び「新東名高速道路建設工事現場」視察調査を開催、職員の資質向上を図るため、2回技術研修会を開催。
負担金を交付して 市が得たメリット	市単独では困難な要望活動ができいる。また、市単独では開催困難な現地研修に参加することができ、職員の資質の向上、知見の向上につながいる。

4　負担金の交付先における収支等について

犬山市負担金額（当初支出額）	98,000　円	精算の有無	有	精算（返還）額	0　円	精算後の負担金の額	98,000　円
負担金の対象となる全体事業費（精算がある場合は精算前の額）		収入額	1,229,593　円	支出額	919,033　円	余剰額	310,560　円
構成員の負担割合（根拠）	80,000円(市町割会費)＋18,000円(人口割会費)＝98,000円						
余剰額が発生した場合の取扱い	翌年度繰越					繰越額	310,560　円
交付先における収入の状況（精算前の額）	会費900,000円、雑収入93円、繰越金329,500円						

交付先における支出の状況	項目	予算（当初支出時の想定）		決算（実績）		
		積算等	金額	積算等	金額	契約の方法、相手方等
	総会費	過去の実績を踏まえた金額	110,000　円	会場使用料　25,000円 印刷代　32,400円　等	66,938　円	(株)日誠堂、 (公財)一宮地場産業ﾌｧｯｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝｾﾝﾀｰ 等
	役員会費	過去の実績を踏まえた金額	40,000　円	コーヒー代　9,450円　等	19,600　円	樹楽
	調査研究費	過去の実績を踏まえた金額	400,000　円	現地調査費　272,874円 等	292,165　円	名鉄観光サービス　等
	事業促進費	過去の実績を踏まえた金額	650,000　円	広報用パンフレット「事業のあらまし」印刷代、367,200円 会場使用料　66,800円　等	536,310　円	中日本航空測量(株)、(公財)愛知県労働協会　愛知県尾西勤労青少年福祉センター
	事務費	過去の実績を踏まえた金額	20,000　円	切手代　4,020円	4,020　円	郵便局
	予備費	過去の実績を踏まえた金額	10,000　円		0　円	
	合計		1,230,000　円		919,033　円	
	積算がない場合の特記事項					